

## 徳島県立国府養護学校におけるセキュリティポリシー策定について

### ー 国府養護学校の取り組み ー

徳島県立国府養護学校 情報教育課長 横田 紀子

yokota-motoko-1@mt.tokushima-ec.ed.jp

キーワード：セキュリティポリシー

### 1. はじめに

本校では特別支援学校という特性から児童、生徒の情報管理は非常に大切なことである。しかし、管理運用の手だてについてはほとんど整備されていなかったため、平成 18 年度、新しく「個人情報管理委員会」を設置し、本校教職員の「個人情報保護」「情報管理の手順について」の理解および、意識の高揚をはかることとした。当初は「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」「個別の移行支援計画」の 3 つのデータに限り、管理方法を検討していくつもりであったが、徳島県学校情報セキュリティ検討委員会で検討していく内容を含めて、検討していくことになった。

### 2. セキュリティポリシー策定の経緯

まず、各課で情報資産の洗い出しをしてもらった。その中から情報教育課と管理職で守るべきデータを絞り込み、さらに情報教育課でデータの重要度の評価表、国府養護学校における情報セキュリティ脅威（危険性）と現在における状況の一覧表を作成した。

再度、各課で重要度の確認をしてもらい、資産ごとに情報セキュリティ上の脅威について確認と現在における状況の一覧表との照らし合わせをしてもらった。本校には 138 名と多くの教員が在籍し、養護学校という特性から情報資産の量も非常に多いため、全校を挙げての協力体制が必要であった。

#### （1）情報資産の洗い出し・・9月8日（金）→9月12日（火）検討委員会

課長会で、洗い出しや評価などの作業の説明と協力要請を行った。その後、課会にて、平成 18 年度校務分掌業務内容を照らし合わせながら、情報資産の洗い出し、重要度・脅威の洗い出し・評価を行った。担当分掌の資産の確認をすることで、責任の所在が明らかになり、セキュリティに対する意識が高まった。

#### （2）洗い出した情報資産の重要度確認（検討委員会用に一覧表で「大→小」に並び替える）

#### （3）脅威（電子媒体と紙媒体に分ける）の洗い出し・・10月5日（火）→10月11日（水）

#### （4）個人情報管理委員会にて、情報資産の重要度・脅威の確認と検討→10月17日（火）

#### （5）セキュリティポリシー検討委員会へ

校務分掌用としては、各課で一覧表を作成し、重要度・脅威についてまとめ、リスクに迅速に、正しく対応できるように考えてみた。また、国府養護学校の情報資産一覧表と紙媒体・電子媒体に分けた脅威の評価表を作成し、評価に掛かる時間の軽減を図った。

#### （6）電子媒体と紙媒体に分けての脅威の評価と脅威に対するリスク対応・・10月末

脅威の評価をする段階で、電子媒体と紙媒体に分けて、初心者でも評価を分かりやすくできるように工夫した。

#### （7）洗い出した情報資産の重要度確認（検討委員会用に一覧表で「大→小」に並び替える）

#### （8）リスクリストの作成（アンケート1回目）・・11月上旬

#### （9）チェックリストの作成からポリシーの策定・・12月中旬

#### （10）実施報告書提出・・12月15日（金）

#### （11）研修会（セキュリティポリシーについて）＋（アンケート2回目）・・1月15日（月）

## (12)「児童・生徒の個人情報運用の手順書作成」運用・1月31日より

## (13)反省会と今後の課題について

## 3. 課題と対応策

企業であれば、セキュリティ関係の専門部署があるが、学校現場では、教育という本来の職務に加えて、セキュリティ関連の仕事を進めていかなければならず、余り細かい部分まではできないのが現状である。また、教職員に対しても、情報に対する安全管理を企業並みに厳しく要求することは、現段階では難しい。将来的には、専任で関わる校務分掌（あるいは委員会）が設置されるべきであり、学校の中で生かされるセキュリティポリシーを運用していくことが今後の課題である。

基本的には、情報の一元管理という意味合いにおいても、重要な情報については、学校内のネットワーク上に、パスワードを掛けて保存し、いかなる情報に関しても、学校外へ持ち出すことはできない状況にあるべきである。しかし、そうすれば本校では現在のところ、教職員の勤務時間が長くなり、退庁時間も益々遅くなる。そこで、管理職の許可を得て台帳に記載した後、パスワードを掛けたファイルを暗号化されたUSBメモリーに入れるという二重のセキュリティを掛けた上で、持ち出すことは許可できるのではないかと考えている。もちろん細心の注意を持って扱うこととしているが、リスクが存在することは事実である。

また、教育現場では、情報資源の重要度や脅威にも違いがあり、利益や損失に及ぶものは少なく、成績や家族構成など、人権問題で悪用される危険を伴う場合が多い。その結果、リスクの考え方も違ってくるし、その対策も当然異なるものと考えられる。

1月15日（月）に「セキュリティポリシーについて」の全校研修会を持ち、10項目の簡単なチェックリストをまずして貰い、直後にリストの説明をしていった。「国府養護学校セキュリティポリシー策定（案）」のいろいろな項目に関係するようにチェックリストを考え、様々な状況でどのようなポリシーを必要とするのか？どのように個人情報を守っていくべきなのかを、実際に「国府養護学校セキュリティポリシー（案）」と照らし合わせてみながら研修することが出来た。2回目のアンケートを採った結果を基に、再度「セキュリティポリシー」をどのように理解してもらったか？全教職員の意識改革となったかどうか？情報管理責任者としての意識作りをどのようにするか？等の集計、分析を現在しているところである。

以上のような問題点を残した段階ではあるが、現在策定されたポリシーの試験的な試みを本年度中に行い、平成19年度当初からは、国府養護学校セキュリティポリシーと、ガイドラインを明確にして運用できるように見直し、改正して行く予定である

## 4. 今後の予定

1月15日（月）の「セキュリティポリシーについて」の全校研修会のアンケートの結果は次のようであった。

個人情報の取り扱いについて意識が変わりましたか？・・・87.4%

具体的に、パスワードを掛ける必要性や、USB、フロッピーディスクの扱い方などで注意しなければいけないこと、常にセキュリティに対する意識を持つ事など、実際の問題としてとらえてくれたことは大きな成果であると思う。

個人情報を保護するためには、セキュリティポリシーは必要だと思いますか？・・・100%

今回の研修は役に立ちましたか？・・・93.7%

以上のような結果を含めて、国府養護学校のガイドラインを見直し、来年度から正式に運用できるように、今年度中に改正し、試験的に運用していきたいと思っている。

また、以下のことも今後引き続き検討していく必要があると思うので、来意年度への課題としたい。

- |                                               |
|-----------------------------------------------|
| ①個人情報管理委員会（または情報セキュリティポリシー策定検討委員会）による継続した検討審議 |
| ②リスク対応に関するシステムの改善（自宅作業時の個人情報の取り扱い等）           |
| ③暗号化（USBメモリーなど）、ファイルのパスワードの徹底                 |
| ④UPSバッテリーの購入をどのようにするか？                        |
| ⑤児童生徒への指導→IDを与えるか？パスワードを教えるか？検討する             |
| ⑥PDF化の研修及び、ソフトの購入（何年保管するのか？）                  |